

平成25年度 江別市社会福祉審議会 第1回

平成26年2月25日(火)
午前10時00分～
市民会館37号室

次 第

1 開 会

2 議 題

(1) 報告事項

- 議題1 部会所属委員の指名及び部会長の互選
- 議題2 平成26年度予算案の概要について・・・資料1
- 議題3 健康づくりプラン21について・・・資料2
- 議題4 高齢者総合計画について・・・資料3
- 議題5 (仮称) 子ども・子育て支援事業計画について・・・資料4
- 議題6 子育てひろば「ぼこ あ ぼこ」視察
(イオンタウン江別2階)

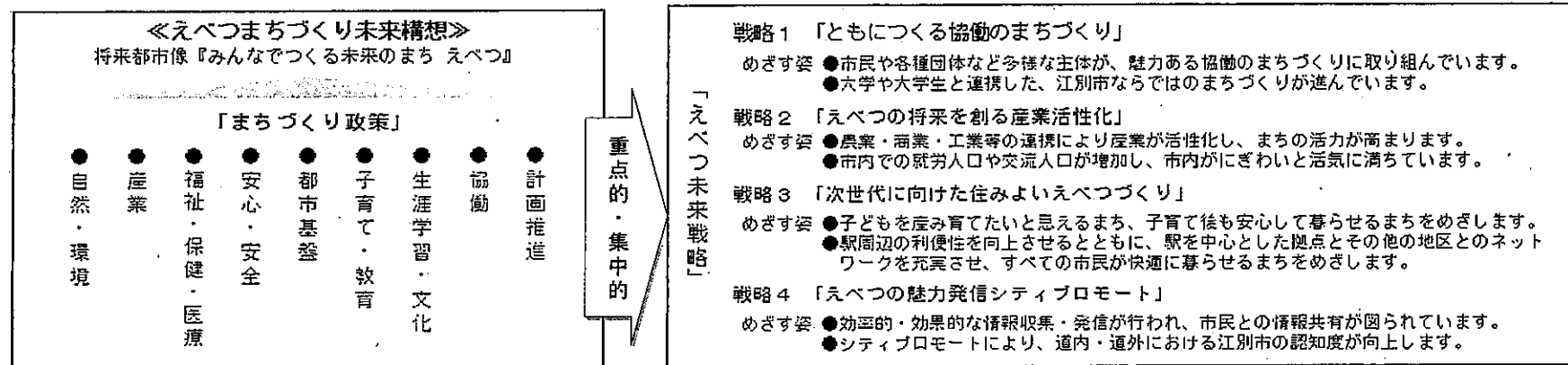
3 閉 会

「えべつ未来づくりビジョン（第6次江別市総合計画）」について

1. 概要

平成26年度からスタートする「えべつ未来づくりビジョン（第6次江別市総合計画）」は、「えべつまちづくり未来構想」と「えべつ未来戦略」で構成する。

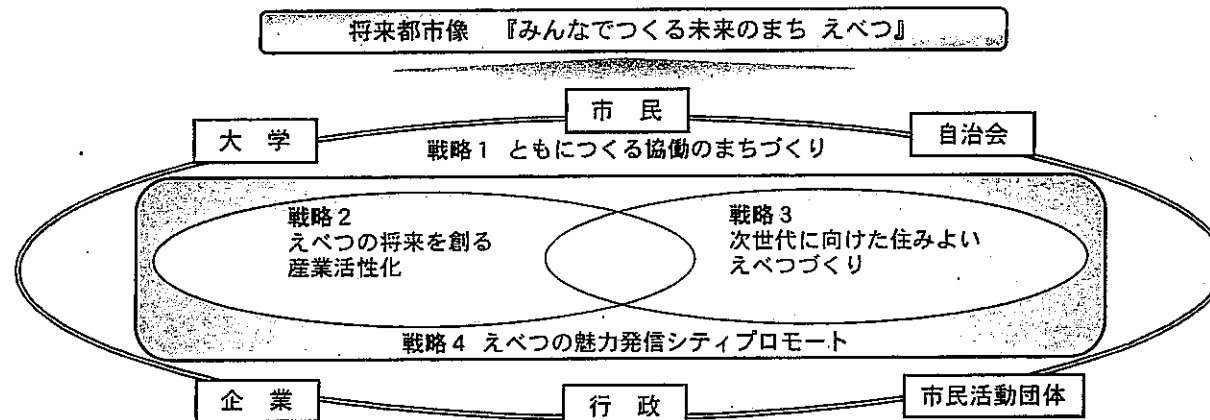
「えべつまちづくり未来構想」では、市のまちづくりの基本理念やめざす10年後の将来都市像、それを実現していくために必要な手立てである「まちづくり政策」を示す。「えべつ未来戦略」では、江別市の特性や優位性を活かして、まちの魅力を高めていくことに繋がるテーマを設定し、そのテーマを実現するために必要な手立てを「まちづくり政策」の中から選択し、重点的・集中的に取り組んでいくことを具体的に示す。



2. えべつ未来戦略

「えべつ未来戦略」で設定している四つのテーマは、「えべつ未来市民会議」の提言書をベースに、行政審議会の審議結果を踏まえてまとめたもので、戦略と戦略が、あるいは戦略と分野ごとの個別計画などが、相互に関係し合うことでより大きな効果を生む。

戦略の取組みは5年間を基本とし、戦略がめざす姿の実現に向けて、関連する部等が連携しながら進めていくとともに、その効果を高めていくため、必要に応じて随時見直しを行う。



平成26年度 政策別主要事業概要

◎はえべつ未来戦略を構成する事業を、○は主な臨時費を示す。

まちづくり政策 取組の基本方針			事業費 (千円)	★は新規・拡大項目等のある事業を示す 主 な 内 容
主 な 事 業				
款 項 目				
03 福祉・保健・医療			12,372,531	(計 106 事業)
01 地域福祉の充実			203,981	(計 9 事業)
民生委員活動支援事業	3	1 1	16,429	市内9地区の民生委員児童委員協議会への補助等
社会福祉協議会補助金	3	1 1	94,026	社会福祉協議会運営費補助、季節保育所運営費補助
○ 地域福祉計画策定事業	3	1 1	4,468	★【新規】地域福祉計画の策定に係る経費
○ 社会福祉センター大規模改修事業補助金	3	1 1	50,000	★【新規】社会福祉協議会が実施する総合社会福祉センター外壁改修への補助
ボランティア人材養成事業	3	1 3	2,047	視覚・聴覚障がい者向け点訳、朗読、手話、要約筆記奉仕員養成講座の開催(地域生活支援事業)
その他 4 事業			37,011	
02 健康づくりの推進と地域医療の安定			4,188,452	(計 23 事業)
救急医療対策事業	4	1 1	23,532	夜間、休日の救急医療体制の確立(内科系、小児科系、外科系)
夜間急病センター運営経費	4	1 1	129,930	夜間急病センターの管理運営経費
○ 夜間急病センター備品整備事業	4	1 1	2,613	心電図計の更新、医事システムの更新(債務負担行為の設定)
高齢者予防接種経費	4	1 3	33,766	65歳以上の高齢者等を対象としたインフルエンザ予防接種への助成
成人検診推進事業(結核予防・がん検診経費)	4	1 7	71,604	結核・がん検診の実施
成人検診推進事業(エキノコックス対策経費)	4	1 7	141	エキノコックス症検診の実施
成人検診推進事業(健康診査経費)	4	1 7	2,285	歯周疾患・肝炎ウイルス・骨粗しょう症等検診の実施
○ 後期高齢者健診推進事業	4	1 7	7,888	後期高齢者の健康診査実施
○ 成人検診推進事業(女性特有がん・大腸がんクーポン検診経費)	4	1 7	30,434	★ 無料クーポン送付による検診受診勧奨(子宮頸がん(20歳対象)、乳がん(40歳対象)、大腸がん(40、45、50、55、60歳対象))、【新規】H21～24年度に無料クーポン(子宮頸がん・乳がん)を送付した方への受診勧奨及び希望する未受診者への無料クーポン提供
○ 健康づくり推進事業	4	1 7	5,536	健康情報の充実、地域巡回健康管理指導、地域健康づくり活動の実施
○ 成人検診推進事業(肝炎ウイルス検診経費)	4	1 7	6,342	肝炎ウイルス検診(40、45、50、55、60、65歳対象)の無料化
○ 国民健康保険会計繰出金	12	1 1	880,741	繰出基準に基づく一般会計負担
○ 病院事業会計繰出金	12	1 4	1,476,054	繰出基準に基づく一般会計負担
○ 介護保険会計繰出金	12	1 6	1,153,176	繰出基準に基づく一般会計負担

平成26年度 政策別主要事業概要

◎はえべつ未来戦略を構成する事業を、○は主な臨時費を示す。

まちづくり政策 取組の基本方針			款 項 目	事業費 (千円)	★は新規・拡大項目等のある事業を示す 主 な 内 容		
主 な 事 業							
○ 後期高齢者医療会計繰出金			12	1	7	332,223	繰出基準に基づく一般会計負担
その他 8 事業						32,187	
03 障がい者福祉の充実						2,998,256	(計 37 事業)
障害者自立支援給付費			3	1	3	2,264,965	障害者総合支援法に基づく介護給付費及び訓練等給付費
障害者補装具給付費			3	1	3	27,736	身体障がい者等への補装具給付
障害者補装具給付費(児童)			3	1	3	14,785	障がい児への補装具の給付
障害者日常生活用具給付費			3	1	3	28,261	障がい者への日常生活用具給付(地域生活支援事業)
障害者日常生活用具給付費(児童)			3	1	3	2,570	障がい児への日常生活用具の給付(地域生活支援事業)
障害者タクシー利用料金助成事業			3	1	3	16,448	在宅の身体1・2級、精神1級、療育手帳A判定者への基本料金相当分のタクシーチケット支給による助成
障害者移動支援事業			3	1	3	44,048	障がい者の移動支援給付費(地域生活支援事業)
障害者社会参加支援事業			3	1	3	3,997	聴覚障がい者への手話通訳者、要約筆記者の派遣、視覚障がい者への点字又は音声による広報えべつ等の配布(地域生活支援事業)
身体障害者訪問入浴サービス事業			3	1	3	4,263	在宅の重度障がい者向け訪問入浴事業(地域生活支援事業)
障害者日中一時支援事業			3	1	3	43,079	障がい者の日中一時支援給付費(地域生活支援事業)
障害者相談支援事業			3	1	3	6,300	障がい者に対する相談支援、情報提供、自立支援協議会運営事業等の委託
障害者成年後見制度利用支援事業			3	1	3	535	障がい者の成年後見制度活用に対する補助(地域生活支援事業)
重症心身障害者(児)医療的ケア事業			3	1	3	1,656	重症心身障がい者・障がい児の社会参加活動への看護師派遣に係る経費
重度心身障害者医療費			3	1	3	241,718	重度心身障がい者の医療費自己負担分一部助成
○ 江別市障がい福祉計画等策定事業			3	1	3	5,507	★【新規】障がい者福祉計画・障がい福祉計画策定に係る経費
その他 22 事業						292,388	
04 高齢者福祉の充実						425,977	(計 25 事業)
福祉除雪サービス事業			3	1	2	17,193	低所得の高齢者、重度身体障がい者世帯に対する玄関前除雪の支援
在宅給食サービス事業			3	1	2	1,128	65歳未満の調理が困難な身体障がい者への夕食配達及び安否確認
高齢者クラブ生きがい支援推進事業			3	1	2	7,170	★ 単位高齢者クラブ、高齢者クラブ連合会への補助、【拡大】江別高齢者クラブ連合会50周年記念事業に対する補助 (市制施行60周年記念事業)
○ 介護基盤緊急整備等特別対策事業			3	1	2	44,813	小規模多機能型居宅介護事業所(1ヶ所)の建設費及び開設準備経費補助

平成26年度 政策別主要事業概要

◎はえべつ未来戦略を構成する事業を、○は主な臨時費を示す。

まちづくり政策				事業費 (千円)	★は新規・拡大項目等のある事業を示す
取組の基本方針					
主 な 事 業					
款 項 目					主 な 内 容
その他 21 事業					
				355,673	
05 安定した社会保障制度運営の推進				4,555,865	(計12事業)
後期高齢者医療費				1,291,541	後期高齢者医療広域連合に対する75歳以上又は、65歳～74歳で一定の障がいのある方の医療費負担金
○ 臨時福祉給付金				427,285	★【新規】国の経済対策に伴う低所得者に対する臨時的な給付金
○ 臨時福祉給付金事務費				64,283	★【新規】給付金支給に係る経費
生活扶助自立助長支援事業				2,697,780	生活困窮世帯への生活保護
その他 8 事業				74,976	

平成26年度 政策別主要事業概要

◎はえべつ未来戦略を構成する事業を、○は主な臨時費を示す。

まちづくり政策 取組の基本方針			款 項 目	事業費 (千円)	★は新規・拡大項目等のある事業を示す 主 な 内 容
主 な 事 業					
06 子育て・教育				8,650,227	(計 179 事業)
01 子育て環境の充実				4,383,148	(計 74 事業)
◎ あそびのひろば事業	3	2	1	2,885	子育て中の母親に対し、身近な地域であそびや交流の場を提供する「子育てサロン」等の実施経費、【拡大】にこにこひろば文京台開設、親子にこにこひろば開設時間延長(11時30分→12時)、対象拡大(幼稚園就園前の児童→就学前の児童)
◎ 親子安心育成支援事業(子育てひろば事業)	3	2	1	27,194	子育て支援センター「ぼこあぼこ」の運営経費
◎ 白樺・若草乳児統合園建設整備事業	3	2	4	36,500	★【新規】統合園の建設に係る基本・実施設計経費等
◎ 待機児童解消対策事業	3	2	4	17,550	★【新規】0～2歳児を対象としたグループ型小規模保育所を開設するための保育者等養成経費及び運営補助
子ども発達支援推進事業	3	1	3	11,433	子ども発達支援センターの管理運営、関係機関への支援、障害児相談支援等
児童扶養手当	3	2	1	532,494	ひとり親家庭等への児童扶養手当の支給
児童手当	3	2	1	1,641,372	児童手当の支給
民間子育て支援センター委託費	3	2	1	37,100	民間子育て支援センターへの委託費
○ 放課後児童会運営費補助金	3	2	1	70,590	民間放課後児童会(16か所)への運営費補助
○ 放課後児童会設置事業	3	2	1	1,971	★【新規】江別小・第三小統合校併設放課後児童会の実施設計費負担分
○ ファミリーサポート事業	3	2	1	5,043	市民相互による子育て援助活動に関する事務局運営委託等の経費
○ 親と子の絵本事業	3	2	1	966	新生児のいる家庭全戸に絵本を配布
○ こんにちは赤ちゃん事業	3	2	1	1,546	育児に対する不安感の解消を目的とした地域の主任児童委員と民生委員による家庭訪問の実施
○ 子育て知識啓発事業	3	2	1	1,021	★ 子育て支援センター「すくすく」での子育て講座・講演会の開催、【拡大】子育て仲間の地域づくり講演会
○ 子ども・子育て支援事業計画策定経費	3	2	1	6,210	子ども・子育て支援事業計画策定に係る経費
ひとり親家庭等医療費	3	2	2	52,649	ひとり親家庭等の父母及び児童の医療費自己負担分一部助成
○ 母子家庭等高等技能訓練促進事業	3	2	2	14,434	ひとり親家庭の父母が指定資格を取得することに対する高等技能訓練促進費の支給
保育園運営経費	3	2	4	102,642	市立保育園(4園)運営に係る非常勤職員報酬、臨時職員賃金、給食材料費、教材費
民間保育所等入所委託費	3	2	4	758,868	★ 民間保育園(7園)、認定こども園(2園)の入所委託費等、【拡大】つくし保育園民営化(45人)
民間保育所等運営費補助金	3	2	4	78,363	民間保育園の1歳児保育士加配置、障がい児保育、調理員、牛乳代等の補助
一時預かり事業	3	2	4	29,260	緊急・一時的に家庭における保育が困難となる児童の一時預かり

平成26年度 政策別主要事業概要

◎はえべつ未来戦略を構成する事業を、○は主な臨時費を示す。

まちづくり政策 取組の基本方針			事業費 (千円)	★は新規・拡大項目等のある事業を示す 主 な 内 容	
主 な 事 業					
延長保育事業	3	2	4	57,262	午後7時15分までの延長保育を全園で実施
○ 認可外保育施設運営費補助金	3	2	4	2,318	認可外保育施設(3園)の運営費補助
○ 休日保育事業	3	2	4	3,943	休日保育の実施(誠染保育園)
○ 病児・病後児保育事業	3	2	4	14,295	病児・病後児保育を実施する医療機関に対し、運営費の一部補助
児童館地域交流推進事業	3	2	5	51,719	市開設の児童館(7館)及び併設児童クラブ(2クラブ)運営経費
家庭児童相談事業	3	2	6	3,630	児童の養育等に関する家庭児童相談事業に係る経費
乳幼児等医療費	3	2	7	123,554	小学校修了前児童の医療費自己負担分一部助成
養育医療費	3	2	8	5,585	入院治療を必要とする未熟児に対する自己負担分の医療費の助成
○ 子育て世帯臨時特例給付金	3	2	9	130,000	★【新規】国の経済対策に伴う児童手当対象者に対する臨時特例給付金(臨時福祉給付金対象者を除く)
○ 子育て世帯臨時特例給付金事務費	3	2	9	9,664	★【新規】給付金支給に係る経費
予防接種経費	4	1	3	134,302	乳幼児、児童、生徒の定期予防接種の実施
妊産婦健康診査経費	4	1	6	58,314	妊婦健康診査(一般健診、超音波検査等)の実施
乳幼児健康診査推進事業	4	1	6	14,036	4か月、10か月、1歳6か月、3歳児健康診査、発達健康診査の実施
○ 乳幼児虐待予防支援事業	4	1	6	4,718	妊産婦、乳幼児と保護者への子育て支援対策充実(相談・指導・援助)による虐待早期予防
幼稚園就園奨励費補助金	10	1	3	185,816	幼稚園の就園奨励費補助(保護者負担の軽減)
○ 私立幼稚園補助金(運営費補助金)	10	1	3	20,000	市内私立幼稚園(13園)に対する運営費補助
○ 私立幼稚園補助金(障害児教育補助金)	10	1	3	2,500	市内私立幼稚園に対する障がい児受入れ経費の補助
○ 私立幼稚園補助金(連合会補助金)	10	1	3	500	江別市私立幼稚園連合会への補助
その他 35 事業				130,901	
02 子どもの教育の充実				4,267,079	(計 105 事業)
◎ 小中学校学習サポート事業	10	1	3	9,317	★ 退職教員等の活用による学習支援の実施(ティーム・ティーチング等による授業での学習支援、夏季冬季休業期間中の補充的学習)、【拡大】全中学校における放課後の補充的学習の実施
◎ 児童生徒体力向上事業	10	1	3	636	★ 児童生徒の体力向上に向けた調査・研究、体力向上プログラム実施(3校)、【拡大】体力向上プログラムのDVD作成・配布
◎ 小学校外国語活動支援事業	10	2	2	20,900	★ 小学校外国語活動のための外国人指導助手派遣(6人)、【拡大】小学校における1～4年生の外国語活動を実施(3～4年生は全校、1～2年生は一部実施)
いじめ・不登校対策事業	10	1	3	3,477	臨床心理士による教育相談、不登校児童生徒へのケア事業の実施(専任指導員1名配置)、「心のダイレクトメール」実施、ネットパトロールの実施

だれもが健康的に安心して暮らせるえびつをめざします

社会福祉センター

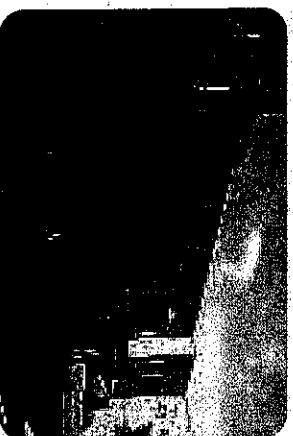
大規模改修事業補助金

50,000千円

社会福祉法人江別市社会福祉協議会や子ども発達支援センターなどの活動拠点である江別市総合社会福祉センター（昭和57年築）について、外壁タイルの張替工事を補助します。



ウォーキング大会の様子



江別市総合社会福祉センター

健康づくり推進事業

5,536千円

第2次えびつ市民健康づくりプラン21にもとづき、市民の健康の保持・増進を目指した生活習慣の実践や地域の健康づくり活動を推進します。

- ◆ 地域はつらつ教室
- ◆ 市民ウォーキング大会
- ◆ 健康づくり推進事業補助金
- ◆ 簡単レシピ集による食育活動 など



高齢者クラブ

生きがい支援推進事業

7,170千円

自主的に活動している高齢者クラブ及び連合会に対して補助金を交付し、高齢者の生きがいづくり、福祉の増進を支援します。

- ◆ 江別市高齢者クラブ連合会補助金
- ◆ 江高連50周年記念式典
（市制施行60周年記念）



計画の策定

9,975千円

法令等にもとづき、福祉にかかわる計画を次のとおり策定します。

- ◆ 地域福祉計画 （計画期間：平成27～31年度）
- ◆ 障がい者福祉計画（ ）：平成27～32年度）
- ◆ 障がい福祉計画（ ）：平成27～29年度）

特別会計・企業会計における取組み

国民健康保険特別会計

（健康づくり推進団体助成金）

300千円

市民の健康増進・疾病予防・早期発見を推進するため、国民健康保険の特定検診や、後期高齢者保険の市が指定する健康診査の受信促進に積極的に取り組んだ自治会に対し、助成金を交付します。

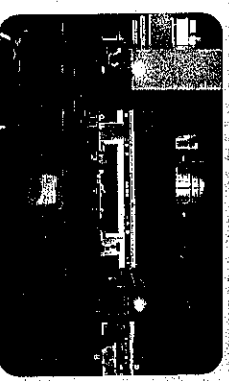
- ◆ 健康づくり推進団体助成金



病院事業会計

江別市立病院では、在宅診療の充実、南幌町立病院への医師派遣、札幌医科大学との連携による医学生受入など、地域医療の安定・充実に取り組んでいます。

- ◆ 高齢者・退院患者等が安心して自宅療養できるための在宅診療の充実
- ◆ 地域医療連携のための南幌町立病院への医師派遣
- ◆ 総合内科医養成のための医学生受入



江別市立病院受付ロビー

未来のえびを支える元気で情操豊かな子どもたちの育成をめざします

新規 白樺・若草乳児統合園
建設整備事業

36,500千円

老朽化した白樺保育園と若草乳児保育園を統合園として新設整備し、0歳～5歳までの就学前児童への一貫した保育サービスを提供します。

- ◆ 園舎基本実施設計
- ◆ 外構基本実施設計



新規 待機児童解消対策事業

17,550千円

年度途中に生じる待機児童対策として、幼稚園等の施設の一部を利用して家庭的な保育を提供するグループ型小規模保育事業への支援を行います。

- ◆ 家庭的保育者養成研修
- ◆ グループ型小規模保育事業補助金



親子安心育成支援事業
（子育てひろば事業）

27,194千円

商業施設内に開設した子育てひろば『ぼこ あぼこ』を運営します。季節や天候を問わず室内型で、大型遊具やクライミングウォールなどを備え、子どもが自由に遊べる空間を提供します。

- ◆ 子育てひろば『ぼこ あぼこ』運営費
〔年中無休 9:30～17:30 利用料無料
0歳～小学校3年生まで（保護者同伴）
（図書コーナーは小学校6年生まで）〕



「にこにこひろば」の様子

あそびのひろば事業

2,885千円

子どもの遊び場として、また、子育てに関する情報交換や交流の場として、月に1回、各地域で開催されている「にこにこひろば」を文京台地区にも開設します。また、民生委員・児童委員や子育てサポートが実施する取組みとも連携し、市内全域で出前型のひろばを提供します。

- ◆ 拡大 にこにこひろば新設（文京台地区）



児童生徒体力向上事業

636千円

市内大学（北翔大学）の協力のもと、小学校低学年向けに基礎的な運動を継続的に行える「朝運動プログラム」を実施します。

- ◆ また、体力向上の取り組みが広がるよう、同プログラムの出前事業や各校へのDVD配布を行います。
- ◆ 朝運動プログラムの実施（文京台小）
- ◆ 出前事業の実施（3校予定）
- ◆ 拡大 DVDの配布



「朝運動プログラム」の様子

小中学校学習サポート事業

9,317千円

地域にいる退職教員など教員資格を持つ学習サポート教員を活用し、複数の教員が指導するティームティーチングや、夏休み・冬休みの補充的学習、放課後の補充的学習などを実施し、子ども達の学力向上に取り組みます。

- ◆ 複数教員による指導（小・中学校）
- ◆ 夏季・冬季休業中の補充的学習の支援（小・中学校）
- ◆ 拡大 放課後の補充的学習の支援（中学校）



複数の教員による指導

特 別 会 計

24,116,000千円（前年比+502,000千円、+2.1%）

国民健康保険特別会計

13,712,000千円

江別市国民健康保険の被保険者に対して、疾病や負傷に対する保険給付や出産育児金等の現金給付等を行います。

- ◆ 医療費の増加に伴い、療養給費などが増加し、前年比2.0%増加します。
- ◆ 国保税を軽減するため、一般会計から880,741千円の繰り入れを受けます。

後期高齢者医療特別会計

1,562,000千円

75歳以上の高齢者の方が加入する後期高齢者医療保険にかかると保険料を管理し、保険を運営する北海道後期高齢者医療広域連合へ納付するための会計です。

- ◆ 被保険者が納付した保険料 1,227,824千円
- ◆ 低所得者の保険料軽減に対する公費負担 291,396千円
- ◆ その他事務費など 42,780千円

介護保険特別会計

8,410,000千円

第5期介護保険事業計画にもとづき、高齢化による介護給付費の増加を見据えて計画的に事業を進めていきます。

- ◆ 要介護者・要支援者の増加により前年比3.0%増加します。
- ◆ 介護予防の取組み、地域包括支援センターの運営など地域支援事業を実施します。

基本財産基金運用特別会計

432,000千円

江別市有林地分金をもとにした市の財政に寄与するための基本財産基金について、その運用の経理を明確にするための会計です。

- ◆ 基金で保有している土地の管理経費
- ◆ 江別小学校・江別第三小学校統合校建設事業など市の投資事業に対する債権運用
- ◆ 土地・現金の運用益の基金への繰出金

公営企業会計

19,133,886千円（前年比+2,364,501千円、+14.1%）

水道事業会計

4,311,802千円

- ◆ 水道事業では、浄水施設や配水施設などの改修を計画的に行い、市民生活のライフラインとして常に安全で良質な水道水を安定的に供給します。また、少子高齢化による人口の減少や景気低迷、節水型機器の普及などにより水需要が適減してきており、水道施設整備を計画的に行っていく必要があります。
- ◆ 災害に強いライフラインの構築を図るため、引き続き基幹管路の耐震化工事を実施します。

下水道事業会計

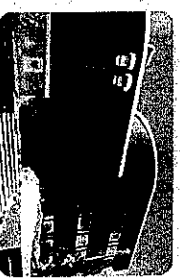
5,937,764千円

- ◆ 下水道事業では、市民のみなさんがより安全で、快適な生活環境を確保できるよう、雨水管路整備と環境に配慮した適切な下水処理を進めていきます。
- ◆ 災害に強い下水道事業を実施するべく、施設整備更新事業や耐震化事業を進めます。

病院事業会計

8,884,320千円

- ◆ 病院事業では、地域医療の充実を図るため、総合内科医の養成等に努めます。
- ◆ 他の医療・福祉機関との連携により、患者の紹介・逆紹介を推進するとともに、病床利用率を向上し、地域医療連携に努めます。
- ◆ 高齢者や退院患者等が自宅で安心して療養できるように、総合内科医等による在宅診療の充実に努めます。
- ◆ 院内情報システムの導入により、医療の質の向上と業務の効率化を図ります。



江別市水道庁舎

江別市立病院

平成26年度 江別市予算規模の概要（企業会計を除く）

（千円）

		25年度当初 (A)	26年度当初案 (B)	差引 (B)－(A)	増減率	備 考
一 般 会 計		40,850,000	44,420,000	3,570,000	8.7%	
特別会計	国 民 健 康 保 険	13,437,000	13,712,000	275,000	2.0%	
	後 期 高 齢 者 医 療	1,443,000	1,562,000	119,000	8.2%	
	介 護 保 険	8,167,000	8,410,000	243,000	3.0%	
	基 本 財 産	567,000	432,000	△ 135,000	−23.8%	
計		64,464,000	68,536,000	4,072,000	6.3%	

うち健康福祉部関係予算

（千円）

		25年度当初 (A)	26年度当初案 (B)	差引 (B)－(A)	増減率	備 考
一般会計	健 康 福 祉 部	12,043,336	12,712,550	669,214	5.6%	26年度は国の経済対策による臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金631, 232千円を含む
	健康福祉部予算の割合	29.5%	28.6%	−0.9%	−	
特別会計	国 民 健 康 保 険	13,437,000	13,712,000	275,000	2.0%	
	後 期 高 齢 者 医 療	1,443,000	1,562,000	119,000	8.2%	
	介 護 保 険	8,167,000	8,410,000	243,000	3.0%	
計	健 康 福 祉 部	35,090,336	36,396,550	1,306,214	3.7%	
	健康福祉部予算の割合	54.4%	53.1%	−1.3%	−	

えべつ市民健康づくりプラン21（第2次）について

1. 計画の目的

平成 15 年に策定した『えべつ市民健康づくりプラン21』の計画期間が満了するに当り、最終評価により、明らかになった課題や国の健康づくり計画である『第二次健康日本21』の趣旨を踏まえ、継続した江別市民の健康づくりを推進するために策定する。

2. 計画の根拠

健康増進法第8条第2項
厚生労働省告示第430号

3. 計画期間

平成 26 年度～平成 35 年度

4. 計画のポイント

基本理念：誰もが健康的に安心して暮せるえべつ

基本方針：疾病予防・重症化予防の促進（生活習慣病を予防し、悪化を防ごう！）

母子保健の充実（元氣なえべつ子を増やそう！）

健康増進活動の推進（健康づくりをしよう！）

4つの分野

健康意識を高める

正しい生活習慣を実践する

健康管理ができる

健康を増進することができる

市民の行動目標

- ① ところと体の健康に関心を持とう
- ② 生活習慣病を知ろう
- ① 食生活について
- ② 運動について
- ③ 休養、睡眠、こころの健康について
- ④ アルコール、たばこについて
- ⑤ 歯と口の健康について
- ① 健診・歯科検診・がん検診を受けよう
- ② 治療を継続しよう
- ③ 予防接種を受けよう
- ① 地域とのつながりを大切にしよう
- ② 健康づくり活動に参加しよう

市民の取り組み、関係組織や市の取り組みを行動目標ごとに設定

高齢者総合計画について

1. 計画の目的

介護保険事業に係る保険給付及び地域支援事業の実施に関する介護保険事業計画と高齢者を対象とした総合的な福祉施策の実施に関する高齢者保健福祉計画を一体的に策定する。

2. 計画の根拠

第6期介護保険事業計画 介護保険法第117条
第7期高齢者保健福祉計画 老人福祉法第20条の8

3. 計画期間

平成27年度～平成29年度（共通）

4. 計画のポイント

①介護保険サービス利用量の推計

江別市の人口動態等から将来の高齢者人口を推計し、計画期間において高齢者が利用する介護保険の在宅サービスや施設サービスの量を推計する。

サービス量の推計結果により、特別養護老人ホームやグループホームなどの施設等の整備計画を策定する。

②計画期間における介護保険料の設定

介護保険サービス量の推計により計画期間内の保険給付費等支出額を算定し、収入における計画期間3カ年の介護保険料を設定する。

③地域包括ケア体制の充実

現計画の取組み継続とともに、医療と介護の連携や認知症への対応、介護予防、高齢者の住まい方や社会参加などについて、長期的な視点にたって策定する。

(仮称) 江別市子ども・子育て支援事業計画について

1. 計画の目的

全国的な少子化の進行や大都市圏での待機児童問題など、子ども・子育てをめぐる諸問題を解決するため、平成24年8月にいわゆる「子ども・子育て関連三法」が成立した。

このことにより、これまで以上に安心して子どもを産み・育てる環境整備や支援などを進めるための新たな仕組みとして、平成27年度から「子ども・子育て支援新制度」が開始される予定である。

子ども・子育て支援事業計画は、子ども・子育て関連三法が目指す「質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的提供」や「地域における子育て支援の充実」、「保育の量的拡大」などを図るため、子ども・子育て支援法に基づき、保育などのニーズに応じた適切なサービス量を定め、計画的な推進を図るもの。

2. 計画の根拠

子ども・子育て支援法第61条第1項

3. 計画期間

平成27年度～平成31年度（5ヵ年）

4. 計画のポイント

子ども・子育て支援事業計画は、5年間の計画期間における幼児期の学校教育・保育・子育て支援についての需給計画である。

このため、教育・保育提供区域ごとに、ニーズ調査の結果に基づき設定した「量の見込み」に対応するように「幼児期の学校教育・保育、地域子ども子育て支援事業に係る提供体制の確保及びその実施時期」を年度ごとに定め、併せて、「幼児期の学校教育・保育の一体的な提供を含む子ども・子育て支援の推進方策」を定めるものである。

【参考：子ども・子育て支援新制度】

子ども・子育て支援新制度は、質の高い幼児教育の提供などを進めるため、保育園・幼稚園・認定子ども園等のサービスを施設型給付として統合するとともに、新たに地域型保育事業を創設し、これらを給付対象として制度化した。また、一時預かり事業や子育て支援事業などを地域子育て支援事業とし、妊娠から子育てまで、子ども・子育てに係る一体的支援を図ることとされた。

新制度移行後の主な変更点は、

- ① 保護者は、施設型給付等の対象となるサービス（保育所や幼稚園など）を受けようとする場合、市に申請した上で、新たに「保育を必要とする」認定を受けることとされた。
- ② 事業者は、従来の私学助成、保育園運営費補助などが施設型給付となり市町村を通じ給付されることとなる。また、地域型保育事業は、市町村が新たに定める基準の要件を満たす事業所を地域型保育事業所として市町村が認定した上で、新たに公費負担の対象とすることとされた。